

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市栃木文化会館
	所在地	栃木県栃木市旭町12番16号
	施設内容	文化会館
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	東京都千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階
	主な業務内容	地方自治法に基づく指定管理者制度による公共施設の管理・運営業務 PFI事業の受託及びSPCへの出資 コンサート・演劇等の興行及びビルメンテナンスを含むホール施設の管理・運営業務 飲食店の経営並びに飲料・食料品の加工販売

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者アンケート数		1,750件	2,553件			
	利用者意見反映数		3件	3件			
	利用案内揭示数		13箇所	13箇所			
	利用者満足率		94%	97.1%			
	業務改善数		2件	3件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	<p>①関係法令や条例及び施設運営ルール等を遵守することはもちろんのこと、平等な利用が確保されるよう会館運営方針や内規を整備し、それを職員全員が適切に理解した上で施設運営に当たった。</p> <p>②栃木市文化施設4館の催し物案内には「施設ご利用の事前受付の流れ」についても分かり易く掲載し、さらに文化会館ホームページや来館されたご利用者へも周知する等、公平性を確保している。</p> <p>③利用者アンケートを実施したほか、利用者懇談会を10月24日に開催し、意見の把握とその反映に努めた。</p> <p>④ご利用者からのご意見・苦情については、文化会館責任者が誠実に向き合い、必要に応じて訪宅も実施し、行政との情報共有にも努めた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート数が計画値及び昨年度の数値を上回っており、努力が伺える。 ・利用者満足率は計画値を上回っており評価できる。 ・自主事業の参加者アンケートから地域のニーズ把握に努め、意見を反映した事業を行う事で、利用者満足率向上が図られている。 ・アンケートや利用者懇談会等により、施設利用者から幅広く意見要望等を聴取し、それを管理運営に反映することで、利便性向上が図られている。 ・業務改善数も計画値を上回っており、評価できる。 						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		235,000人	126,743人			
	広報紙発行部数		36,000部	36,000部			
	新規事業数		1事業	1事業			
	地域との協働事業数		1事業	2事業			
	協働事業参加者数		2人	延べ3人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	II	0.8	16	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①設置目的である、市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図ることを十分理解した上で、文化施設としての管理運営を行った。</p> <p>②広報活動については、広報とちぎへの記事掲載のほか、年間を通して月毎に発行する催し物案内を栃木市内の公共施設に送付し配架していただいた。また新規利用者獲得のため、「FMくらら」等への出演、ホームページの頻繁な更新及びSNS等を利用し、コロナ5類移行後も感染対策を実施しながら安全・安心に利用できることをお伝えして利用促進を図った。</p> <p>③ご利用者のご意見やご要望を踏まえ、開館時間の延長に対応している。本年度実績として大ホールで14団体、小ホールで4団体の延長利用があった。</p> <p>④今年も「歌麿を活かしたまちづくり協議会」の監事として参画し、「歌麿道中」での交通整理やとちぎ文化祭「歌麿夢芝居」での列整理に協力して、イベントの成功に導いた。</p> <p>⑤子供向けアートワークショップ「みんなで作るBIGエアドーム！」を企画し、親子で製作する楽しさと交流の場を提供することが出来た。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で利用者数は大幅な減少となっているが、昨年度より増加しているほか、事業も計画どおりに行われており、管理運営については概ね良好に実施されている。 ・現在実施している広報活動（広報、催物案内、新聞広告、ラジオ、HP）での宣伝だけでなく、あらゆる機会を捉えてPRに努められたい。 ・開館時間の延長など、利用者の意見要望等を踏まえた対応により、引き続き利用増やリピーターの確保に努められたい。 ・協働事業については、事業数、参加者数ともに計画値を上回っており、評価できる。民間企業としてのノウハウを活かし、今後も地域イベント等へ積極的に参画されたい。 ・子供向けアートワークショップ「みんなで作るBIGエアドーム！」については、申込開始から2日間で定員に達し、キャンセル待ちが出るなど大変好評な企画であった。また、作品展示には参加者以外も来場されており、交流の場の提供としても評価できる。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	経費削減件数		5件		6件		
	見積合わせ実施数		2件		2件		
	施設修繕数		30件		18件		
	備品等更新数		2件		1件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①収支手続きについて、指定管理業務及び自主事業に係る収支については現在の口座を継続して使用し、各費目及び事業毎に適正な管理を行う事で経理処理の透明性を確保した。</p> <p>②職員で出来る修繕については、自ら資材等の価格調査を行ったうえで購入及び施工し、経費削減を図るとともに、早急に対応することでご利用者へのサービス向上に努めた。</p> <p>③修繕などは優先度や緊急性の精査を行っており、金額の妥当性を見極めるため、内容によっては複数の見積りを徴取し、適切に発注をしている。（見積合わせ2件）</p> <p>④施設、備品等の管理は日常点検や予約台帳を参照しながら、利用者の安全面を最優先として修繕等を実施した。また省エネについては、施設運営に支障をきたさないように配慮をしたうえでの経費圧縮に努めた。封筒、コピー用紙については環境配慮物品を購入している。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な修繕は、職員が対応するなど経費削減に努め、効果的に修繕を実施している。経費削減件数も計画値を上回っており、評価できる。 ・利用者からの意見要望を把握し業務改善を心掛け、引き続きサービス向上に努められたい。 ・施設の老朽化や耐用年数も考慮しながら、優先順位を決めて修繕が実施されている。必要な修繕が先延ばしされることがないように、引き続き適切な修繕実施に努められたい。 ・日々の設備等のチェックを怠ることなく不具合の早期発見に努められたい。 ・見積合わせについては、計画どおり実施されている。引き続き見積合わせによる経費削減に努められたい。 ・省エネや環境配慮物品の利用など、環境に配慮した運営に引き続き努められたい。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		11人		11人		
	研修会開催数		12回		26回		
	研修会参加者数		121人		延べ109人		
	勤務時間数(1人当たり)		40時間/週		40時間/週		
	経常収支比率		100%以上		100%以上		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①指定管理者に応募時の事業計画書で提示した「管理運営体制」通りの人員配置で体制を組み管理運営をしており、複数の施設管理を行うメリットとして人員を多く必要とするイベント時などはスポットでヘルプ体制を取ることができた。</p> <p>②研修内容として、接遇マナー・人権擁護・個人情報保護及び救命研修などを計画通りに開催した。さらに本年度は施設管理者としてのスキルアップを図るべく、公文協主催「舞台技術と安全管理」(オンライン配信)を受講し、今後の文化会館運営に役立てた。</p> <p>③社内福利厚生については業界最大手である「ベネフィットステーション」を導入し、充実したプランを展開している。</p> <p>④各種租税や社会保険料等は法律に基づき適切に納めている。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 管理体制は概ね整っており、きめ細やかなサービスの提供がされていると見受けられる。 会館職員として必要なスキルを身につけるための研修・講習会が定期的・継続的に実施されており、研修会開催数が計画値を大きく上回っていることは評価できる。今後も研修参加者の増加を図るとともに、さらに個々の意識向上にも繋がる研修・講習を取り入れていただきたい。 社内の福利厚生制度について、会館職員が積極的に活用できるように努められたい。 各種税金については適切に納入されている。 財政状況については健全に運営されている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	安全点検実施回数			12回／年	12回／年		
	事故発生件数			0件	0件		
	安全講習会等参加者数			7人	2人		
	訓練実施回数			2回	2回		
	訓練参加者数			22人	24人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検及び法令に基づいた法定点検は計画通り実施している。本年度は駐車場アスファルト陥没補修工事を実施し、車両や歩行の妨げとなるリスクを軽減した。</p> <p>②危機管理に関する研修を定期的の実施した。また、緊急時に対応するための「連絡網」も随時更新し、不測の事態に備えている。加えて安全対策として、施設内外の危険箇所を洗い出し、修繕計画に随時反映させている。</p> <p>③ご利用者の安全確保を第一に考え、緊急時を想定した避難訓練や防災訓練を計画通りに実施しており、避難経路図を各諸室ごとに掲出している。なお訓練時は、舞台スタッフや清掃スタッフも含めて全員参加している。また、本年度は消火栓を使用した消化訓練を実施した。</p> <p>④会館職員全員を対象にPマーク（プライバシーマーク）eラーニング研修とテストを実施し、年間を通して個人情報の保護に努めた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・設備等の定期点検及び設備保守作業が計画通り実施されており、利用者の安全のために補修が実施されていることは評価できる。 ・日常の安全点検及び定期点検を適切に実施することで、事故発生件数0を達成されている。引き続き無事故での運営に努められたい。 ・避難訓練や防災訓練が適切に実施され、避難経路を各諸室ごとに掲出するなど、危機管理体制が確立されている。 ・職員全員に研修及びテストを実施するなど、個人情報の保護に努めている。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	85	89	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産総額	1,674,082,000	1,797,645,000	2,042,079,082
売上高	5,092,016,000	6,225,488,000	7,221,022,827
経常利益	281,275,000	131,687,000	188,318,917
当期利益	177,914,000	92,237,000	130,868,563
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常費用	5,009,308,000	6,157,757,000	6,545,903,804
経常収益	5,290,583,000	6,289,444,000	6,734,222,721
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

第7期の売上高は7221百万円となり前期比＋16%増加しました。
 経常利益は前期比56百万円となり増収増益決算となりました。
 また、財務健全性を示す株主資本は、34.2%と昨年度の39.0%から減少しましたが、一定の水準で維持をしております。
 収益性を示す経常収支比率は100%超を安定的に確保しております。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100 で求めます。

指定管理者コメント

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100 で求めます。

指定管理者コメント

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市大平文化会館
	所在地	栃木市大平町蔵井2001番地3
	施設内容	文化会館
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	東京都千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階
	主な業務内容	地方自治法に基づく指定管理者制度による公共施設の管理・運営業務 PFI事業の受託及びSPCへの出資 コンサート・演劇等の興行及びビルメンテナンスを含むホール施設の管理・運営業務 飲食店の経営並びに飲料・食料品の加工販売

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか				
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか				
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか				
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者アンケート数			140件	125件	
	利用者意見反映数			2件	2件	
	利用案内揭示数			4箇所	4箇所	
	利用者満足率			91%	94.2%	
	業務改善数			2件	2件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	25	Ⅲ	0.6	15	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<p>①関係法令や条例及び施設運営ルール等を遵守することはもちろんのこと、平等な利用が確保されるよう会館運営方針や内規を整備し、それを職員全員が適切に理解した上で施設運営に当たった。</p> <p>②栃木市文化施設4館の催し物案内には「施設ご利用の事前受付の流れ」についても分かり易く掲載し、さらに文化会館ホームページや来館されたご利用者へも周知する等、公平性を確保している。</p> <p>③利用者アンケートを実施したほか、利用者懇談会を10月24日に開催し、意見の把握とその反映に努めた。</p> <p>④電話対応に関する苦情が発生した。会社として本案件を重く受けとめ、該当者と3者面談を行い、接客マナーの重要性を説いて再発防止に努める。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> アンケート数が計画値及び昨年度実績をやや下回っている。利用者の意見把握のため、アンケート回収に努力されたい。 利用者満足率は計画値を上回っており評価できる。 自主事業の参加者アンケートから地域のニーズ把握に努め、意見を反映した事業を行う事で、利用者満足率向上が図られている。 アンケートや利用者懇談会等により、施設利用者から幅広く意見要望等を聴取し、それを管理運営に反映することで、利便性向上が図られている。 令和5年度は電話対応及び会館運営に関する苦情が発生した。指定管理者全体の接遇の向上と運営の見直しを図られたい。 					

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		47,400人	21,558人			
	広報紙発行部数		36,000部	36,000部			
	新規事業数		1事業	1事業			
	地域との協働事業数		1事業	2事業			
	協働事業参加者数		2人	延べ15人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①設置目的である、市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図ることを十分理解した上で、文化施設としての管理運営を行った。</p> <p>②広報活動については、広報とちぎへの記事掲載のほか、年間を通して月毎に発行する催し物案内を栃木市内の公共施設に送付し配架していただいた。また新規利用者獲得のため、「FMくらら」等への出演、ホームページの頻繁な更新及びSNS等を利用し、コロナ5類移行後も感染対策を実施しながら安全・安心に利用できることをお伝えして利用促進を図った。</p> <p>③ご利用者のご意見やご要望を踏まえ、開館時間の延長に対応している。（本年度は早開けや延長のご利用団体なし）</p> <p>④地域のアーティストを招聘し、気軽に立ち寄れるロビーを会場とする「ティータイムコンサート」を2回開催した。30人程度の定員ではあったが多くのお客様がご来場し、ロビースペースにも問題なかったことで、全員受け入れて、大好評であった。（1回目：66人、2回目：79人）</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で利用者数は大幅な減少となっているが、事業は計画どおりに行われており、管理運営については概ね良好に実施されている。 ・現在実施している広報活動（広報、催し物案内、新聞広告、ラジオ、HP）での宣伝だけでなく、あらゆる機会を捉えてPRに努められたい。 ・協働事業については、事業数、参加者数ともに計画値を上回っており、評価できる。民間企業としてのノウハウを活かし、今後も地域イベント等へ積極的に参画されたい。 ・ティータイムコンサートは、令和5年度も大変好評であった。今後も時期に合わせた内容を工夫し、継続されたい。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減件数		4件	4件			
	見積合わせ実施数		2件	2件			
	施設修繕数		10件	4件			
	備品等更新数		1件	0件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①収支手続きについて、指定管理業務及び自主事業に係る収支については現在の口座を継続して使用し、各費目及び事業毎に適正な管理を行う事で経理処理の透明性を確保した。</p> <p>②職員で出来る修繕については、自ら資材等の価格調査を行ったうえで購入及び施工した。また植栽管理については職員も作業を行って、経費削減を図りながら景観を維持するように努めた。</p> <p>③修繕などは優先度や緊急性の精査を行っており、金額の妥当性を見極めるため、内容によっては複数の見積りを徴取し、適切に発注をしている。（見積合わせ2件）</p> <p>④施設、備品等の管理は日常点検や予約台帳を参照しながら、利用者の安全面を最優先として修繕等を実施した。また省エネについては、施設運営に支障をきたさないように配慮をしたうえでの経費圧縮に努めた。封筒、コピー用紙については環境配慮物品を購入している。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な修繕や植栽管理については職員が対応するなど、経費削減に努めていることは評価できる。 ・利用者からの意見要望を把握し業務改善を心掛け、引き続きサービス向上に努められたい。 ・施設の老朽化や耐用年数も考慮しながら、優先順位を決めて修繕が実施されている。必要な修繕が先延ばしされることがないように、引き続き適切な修繕実施に努められたい。 ・日々の設備等のチェックを怠ることなく不具合の早期発見に努められたい。 ・見積合わせについては、計画どおり実施されている。引き続き見積合わせによる経費削減に努められたい。 ・省エネや環境配慮物品の利用など、環境に配慮した運営に引き続き努められたい。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		2人		2人		
	研修会開催数		12回		13回		
	研修会参加者数		24人		延べ14人		
	勤務時間数(1人当たり)		40時間/週		40時間/週		
	経常収支比率		100%以上		100%以上		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①指定管理者に応募時の事業計画書で提示した「管理運営体制」通りの人員配置で体制を組み管理運営をしており、複数の施設管理を行うメリットとして人員を多く必要とするイベント時などはスポットでヘルプ体制を取ることができた。</p> <p>②研修内容として、接遇マナー・人権擁護・個人情報保護及び救命研修などを計画通りに開催した。また本年度は施設管理者としてのスキルアップを図るべく、公文協主催「舞台技術と安全管理」(オンライン配信)を受講し、今後の文化会館運営に役立てた。</p> <p>③社内福利厚生については業界最大手である「ベネフィットステーション」を導入し、充実したプランを展開している。</p> <p>④各種租税や社会保険料等は法律に基づき適切に納めている。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 管理体制は概ね整っており、きめ細やかなサービスの提供がされていると見受けられる。 会館職員として必要なスキルを身につけるための研修・講習会が定期的・継続的に実施されている。今後も研修参加者の増加を図るとともに、さらに個々の意識向上にも繋がる研修・講習を取り入れていただきたい。 社内の福利厚生制度について、会館職員が積極的に活用できるように努められたい。 各種税金については適切に納入されている。 財政状況については健全に運営されている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全点検実施回数		12回／年		12回／年		
	事故発生件数		0件		0件		
	安全講習会等参加者数		1人		1人		
	訓練実施回数		2回		2回		
	訓練参加者数		4人		4人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検及び法令に基づいた法定点検は計画通り実施している。本年度はステージへの雨漏りが顕著になったため、資材による補修を会館職員が行い、舞台面への大きなダメージを回避している。</p> <p>②危機管理に関する研修を定期的の実施した。また、緊急時に対応するための「連絡網」も随時更新し、不測の事態に備えている。加えて安全対策として、施設内外の危険箇所を洗い出し、修繕計画に随時反映させている。</p> <p>③ご利用者の安全確保を第一に考え、緊急時を想定した避難訓練や防災訓練を計画通りに実施しており、避難経路図を各諸室ごとに掲出している。</p> <p>④会館職員全員を対象にPマーク（プライバシーマーク）eラーニング研修とテストを実施し、年間を通して個人情報の保護に努めた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・設備等の定期点検及び設備保守作業が計画通り実施されており、利用者の安全及び適切な会館運営のために補修が実施されていることは評価できる。 ・日常の安全点検及び定期点検を適切に実施することで、事故発生件数0を達成されている。引き続き無事故での運営に努められたい。 ・避難訓練や防災訓練が適切に実施され、避難経路を各諸室ごとに掲出するなど、危機管理体制が確立されている。 ・職員全員に研修及びテストを実施するなど、個人情報の保護に努めている。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	15	15	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	79	79	
総合評価		B (良)	B (良)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産総額	1,674,082,000	1,797,645,000	2,042,079,082
売上高	5,092,016,000	6,225,488,000	7,221,022,827
経常利益	281,275,000	131,687,000	188,318,917
当期利益	177,914,000	92,237,000	130,868,563
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常費用	5,009,308,000	6,157,757,000	6,545,903,804
経常収益	5,290,583,000	6,289,444,000	6,734,222,721
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

第7期の売上高は7221百万円となり前期比＋16%増加しました。
 経常利益は前期比56百万円となり増収増益決算となりました。
 また、財務健全性を示す株主資本は、34.2%と昨年度の39.0%から減少しましたが、一定の水準で維持をしております。
 収益性を示す経常収支比率は100%超を安定的に確保しております。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市藤岡文化会館
	所在地	栃木市藤岡町藤岡810番地
	施設内容	文化会館
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	東京都千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階
	主な業務内容	地方自治法に基づく指定管理者制度による公共施設の管理・運営業務 PFI事業の受託及びSPCへの出資 コンサート・演劇等の興行及びビルメンテナンスを含むホール施設の管理・運営業務 飲食店の経営並びに飲料・食料品の加工販売

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用者アンケート数			85件	57件		
	利用者意見反映数			2件	2件		
	利用案内揭示数			4箇所	4箇所		
	利用者満足率			92%	96.5%		
	業務改善数			2件	2件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>①関係法令や条例及び施設運営ルール等を遵守することはもちろんのこと、平等な利用が確保されるよう会館運営方針や内規を整備し、それを職員全員が適切に理解した上で施設運営に当たった。</p> <p>②栃木市文化施設4館の催し物案内には「施設ご利用の事前受付の流れ」についても分かり易く掲載し、さらに文化会館ホームページや来館されたご利用者へも周知する等、公平性を確保している。</p> <p>③利用者アンケートを実施したほか、利用者懇談会を10月24日に開催し、意見の把握とその反映に努めた。</p> <p>④ご利用者からのご意見・苦情については、文化会館責任者が誠実に向き合い、行政との情報共有にも努めた。</p>						
施設所管課コメント	<p>・アンケート数が計画値及び昨年度実績をやや下回っている。利用者の意見把握のため、アンケート回収に努力されたい。</p> <p>・利用者満足率は計画値を上回っており評価できる。</p> <p>・自主事業の参加者アンケートから地域のニーズ把握に努め、意見を反映した事業を行う事で、利用者満足率向上が図られている。</p> <p>・アンケートや利用者懇談会等により、施設利用者から幅広く意見要望等を聴取し、それを管理運営に反映することで、利便性向上を図っている。利用者懇談会で上がった安全上の問題について早急に対応されていたことは評価できる。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		28,500人	21,888人			
	広報紙発行部数		36,000部	36,000部			
	新規事業数		1事業	0事業			
	地域との協働事業数		1事業	1事業			
	協働事業参加者数		2人	延べ13人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①設置目的である、市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図ることを十分理解した上で、文化施設としての管理運営を行った。</p> <p>②広報活動については、広報とちぎへの記事掲載のほか、年間を通して月毎に発行する催し物案内を栃木市内の公共施設に送付し配架していただいた。また新規利用者獲得のため、「FMくらら」等への出演、ホームページの頻繁な更新及びSNS等を利用し、コロナ5類移行後も感染対策を実施しながら安全・安心に利用できることをお伝えして利用促進を図った。</p> <p>③ご利用者のご意見やご要望を踏まえ、開館時間の延長に対応している。本年度実績として中ホールで2団体の延長利用があった。</p> <p>④自衛隊小山地域事務所や藤岡父兄会の協力で開催した「陸上自衛隊中央音楽隊コンサート」では、質の高い吹奏楽と独唱を交え、住民が待ちに待った演奏会に応えることが出来た。また公民館講座のサポートを通じて関係団体との交流を深めることができた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で利用者数は大幅な減少となっているが、事業は計画どおりに行われており、管理運営については概ね良好に実施されている。 ・現在実施している広報活動（広報、催物案内、新聞広告、ラジオ、HP）での宣伝だけでなく、あらゆる機会を捉えてPRに努められたい。 ・開館時間の延長など利用者の意見要望等を踏まえた対応や、新規事業の実施により、利用増やリピーターの確保に努められたい。 ・地域の特性を活かした活用方法の検討や新規利用者の拡大に努められたい。 ・協働事業参加者数は計画値を大きく上回っており、評価できる 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減件数		3件	3件			
	見積合わせ実施数		2件	2件			
	施設修繕数		10件	9件			
	備品等更新数		1件	0件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①収支手続きについて、指定管理業務及び自主事業に係る収支については現在の口座を継続して使用し、各費目及び事業毎に適正な管理を行う事で経理処理の透明性を確保した。</p> <p>②職員で出来る修繕については、自ら資材等の価格調査を行ったうえで購入及び施工し、経費削減を図るとともに、早急に対応することでご利用者へのサービス向上に努めた。</p> <p>③修繕などは優先度や緊急性の精査を行っており、金額の妥当性を見極めるため、内容によっては複数の見積りを徴取し、適切に発注をしている。（見積合わせ2件）</p> <p>④施設、備品等の管理は日常点検や予約台帳を参照しながら、利用者の安全面を最優先として修繕等を実施した。また省エネについては、施設運営に支障をきたさないように配慮をしたうえでの経費圧縮に努めた。封筒、コピー用紙については環境配慮物品を購入している。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な修繕は、職員が対応するなど経費削減に努め、効果的に修繕を実施している。 ・利用者からの意見要望を把握し業務改善を心掛け、引き続きサービス向上に努められたい。 ・施設の老朽化や耐用年数も考慮しながら、優先順位を決めて修繕が実施されている。必要な修繕が先延ばしされることがないように、引き続き適切な修繕実施に努められたい。 ・日々の設備等のチェックを怠ることなく不具合の早期発見に努められたい。また、引き続き見積合わせによる経費削減に努められたい。 ・省エネや環境配慮物品の利用など、環境に配慮した運営に引き続き努められたい。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		1人		1人		
	研修会開催数		12回		13回		
	研修会参加者数		12人		延べ13人		
	勤務時間数(1人当たり)		40時間/週		40時間/週		
	経常収支比率		100%以上		100%以上		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①指定管理者に応募時の事業計画書で提示した「管理運営体制」通りの人員配置で体制を組み管理運営をしており、複数の施設管理を行うメリットとして人員を多く必要とするイベント時などはスポットでヘルプ体制を取ることができた。</p> <p>②研修内容として、接遇マナー・人権擁護・個人情報保護及び救命研修などを計画通りに開催した。また本年度は施設管理者としてのスキルアップを図るべく、公文協主催「舞台技術と安全管理」(オンライン配信)を受講し、今後の文化会館運営に役立てた。</p> <p>③社内福利厚生については業界最大手である「ベネフィットステーション」を導入し、充実したプランを展開している。</p> <p>④各種租税や社会保険料等は法律に基づき適切に納めている。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 管理体制は概ね整っており、きめ細やかなサービスの提供がされていると見受けられる。 会館職員として必要なスキルを身につけるための研修・講習会が定期的・継続的に実施されており、研修会開催数及び参加者数が計画値を上回っていることは評価できる。今後も研修参加者の増加を図るとともに、さらに個々の意識向上にも繋がる研修・講習を取り入れていただきたい。 社内の福利厚生制度について、会館職員が積極的に活用できるように努められたい。 各種税金については適切に納入されている。 財政状況については健全に運営されている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全点検実施回数		12回／年		12回／年		
	事故発生件数		0件		0件		
	安全講習会等参加者数		1人		1人		
	訓練実施回数		2回		2回		
	訓練参加者数		4人		延べ4人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検及び法令に基づいた法定点検は計画通り実施している。本年度は楽屋女子トイレ配管詰まりが発生し、施工業者と念密な連絡を取り合い、迅速な配管復旧工事を実施した。</p> <p>②危機管理に関する研修を定期的の実施した。また、緊急時に対応するための「連絡網」も随時更新し、不測の事態に備えている。加えて安全対策として、施設内外の危険箇所を洗い出し、修繕計画に随時反映させている。</p> <p>③ご利用者の安全確保を第一に考え、緊急時を想定した避難訓練や防災訓練を計画通りに実施しており、避難経路図を各諸室ごとに掲出している。</p> <p>④会館職員全員を対象にPマーク（プライバシーマーク）eラーニング研修とテストを実施し、年間を通して個人情報の保護に努めた。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・設備等の定期点検及び設備保守作業が計画通り実施されており、利用者の安全及び適切な会館運営のために補修が実施されていることは評価できる。楽屋女子トイレ排水管詰まり発生時にも利用者への影響が最小限になるよう適切に対応いただいた。 ・日常の安全点検及び定期点検を適切に実施することで、事故発生件数0を達成されている。引き続き無事故での運営に努められたい。 ・職員全員に研修及びテストを実施するなど、個人情報の保護に努めている。 ・避難訓練や防災訓練が適切に実施され、避難経路を各諸室ごとに掲出するなど、危機管理体制が確立されている。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	88	88	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産総額	1,674,082,000	1,797,645,000	2,042,079,082
売上高	5,092,016,000	6,225,488,000	7,221,022,827
経常利益	281,275,000	131,687,000	188,318,917
当期利益	177,914,000	92,237,000	130,868,563
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常費用	5,009,308,000	6,157,757,000	6,545,903,804
経常収益	5,290,583,000	6,289,444,000	6,734,222,721
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

第7期の売上高は7221百万円となり前期比＋16%増加しました。
 経常利益は前期比56百万円となり増収増益決算となりました。
 また、財務健全性を示す株主資本は、34.2%と昨年度の39.0%から減少しましたが、一定の水準で維持をしております。
 収益性を示す経常収支比率は100%超を安定的に確保しております。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市岩舟文化会館
	所在地	栃木県栃木市岩舟町静2303番地
	施設内容	文化会館
指定管理者	名称	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
	所在地	東京都千代田区神田小川町1-2 風雲堂ビル4階
	主な業務内容	地方自治法に基づく指定管理者制度による公共施設の管理・運営業務 PFI事業の受託及びSPCへの出資 コンサート・演劇等の興行及びビルメンテナンスを含むホール施設の管理・運営業務 飲食店の経営並びに飲料・食料品の加工販売

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用者アンケート数			170件	346件		
	利用者意見反映数			2件	2件		
	利用案内揭示数			3箇所	3箇所		
	利用者満足率			94%	98.0%		
	業務改善数			2件	3件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	<p>①関係法令や条例及び施設運営ルール等を遵守することはもちろんのこと、平等な利用が確保されるよう会館運営方針や内規を整備し、それを職員全員が適切に理解した上で施設運営に当たった。</p> <p>②栃木市文化施設4館の催し物案内には「施設ご利用の事前受付の流れ」についても分かり易く掲載し、さらに文化会館ホームページや来館されたご利用者へも周知する等、公平性を確保している。</p> <p>③利用者アンケートを実施したほか、利用者懇談会を10月24日に開催し、意見の把握とその反映に努めた。</p> <p>④ご利用者からのご意見・苦情については、文化会館責任者が誠実に向き合い、行政との情報共有にも努めた。</p>						
施設所管課コメント	<p>・コロナ禍による利用件数の減少という状況の中、アンケート数が計画値及び昨年度実績を上回っており、努力が伺える。</p> <p>・利用者満足率は計画値を上回っており評価できる。</p> <p>・自主事業の参加者アンケートから地域のニーズ把握に努め、意見を反映した事業を行う事で、利用者満足率向上が図られている。</p> <p>・アンケートや利用者懇談会等により、施設利用者から幅広く意見要望等を聴取し、それを管理運営に反映することで、利便性向上を図っている。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数		42,000人	31,599人			
	広報紙発行部数		36,000部	36,000部			
	新規事業数		1事業	1事業			
	地域との協働事業数		1事業	2事業			
	協働事業参加者数		2人	延べ4人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①設置目的である、市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図ることを十分理解した上で、文化施設としての管理運営を行った。</p> <p>②広報活動については、広報とちぎへの記事掲載のほか、年間を通して月毎に発行する催し物案内を栃木市内の公共施設に送付し配架していただいた。また新規利用者獲得のため、「FMくらら」等への出演、ホームページの頻繁な更新及びSNS等を利用し、コロナ5類移行後も感染対策を実施しながら安全・安心に利用できることをお伝えして利用促進を図った。</p> <p>③ご利用者のご意見やご要望を踏まえ、開館時間の延長に対応している。本年度実績として中ホールで3団体の延長利用があった。</p> <p>④岩舟小学校「まちたんけん」や「職場体験」を受入れ、文化会館の業務や施設の特徴を説明することにより、岩舟地域の歴史・文化への理解を深める場を提供した。</p>						
施設所管課コメント	<p>・コロナ禍の影響で利用者数は減少となっているが、事業は計画どおりに行われており、管理運営については概ね良好に実施されている。</p> <p>【以下、休館明けの対応について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している広報活動（広報、催し物案内、新聞広告、ラジオ、HP）での宣伝だけでなく、あらゆる機会を捉えてPRに努められたい。 ・開館時間の延長や新規事業の実施など、利用者の意見要望等を踏まえた対応により、引き続き利用増やリピーターの確保にめられたい。 ・協働事業については、地元の小中学生の受入を行い、地域と連携した事業を計画を上回って実施されている。今後も民間企業としてのノウハウを活かし、地域イベント等へ積極的に参画されたい。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減件数		3件	3件			
	見積合わせ実施数		3件	3件			
	施設修繕数		20件	15件			
	備品等更新数		1件	0件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①収支手続きについて、指定管理業務及び自主事業に係る収支については現在の口座を継続して使用し、各費目及び事業毎に適正な管理を行う事で経理処理の透明性を確保した。</p> <p>②職員で出来る修繕については、自ら資材等の価格調査を行ったうえで購入及び施工し、経費削減を図るとともに、早急に対応することで利用者様へのサービス向上に努めた。</p> <p>③修繕などは優先度や緊急性の精査を行っており、金額の妥当性を見極めるため、内容によっては複数の見積りを徴取し、適切に発注をしている。（見積合わせ3件）</p> <p>④施設、備品等の管理は日常点検や予約台帳を参照しながら、利用者の安全面を最優先として修繕等を実施した。また省エネについては、施設運営に支障をきたさないように配慮をしたうえでの経費圧縮に努めた。封筒、コピー用紙については環境配慮物品を購入している。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な修繕は、職員が対応するなど経費削減に努め、効果的に修繕を実施している。 ・施設の老朽化や耐用年数も考慮しながら、優先順位を決めて修繕が実施されている。 <p>【以下、休館明けの対応について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの意見要望を把握し業務改善を心掛け、引き続きサービス向上に努められたい。 ・日々の設備等のチェックを怠ることなく不具合の早期発見に努められたい。また引き続き見積合わせによる経費削減に努められたい。 ・省エネや環境配慮物品の利用など、環境に配慮した運営に引き続き努められたい。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		2人		2人		
	研修会開催数		12回		13回		
	研修会参加者数		24人		14人		
	勤務時間数(1人当たり)		40時間/週		40時間/週		
	経常収支比率		100%以上		100%以上		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①指定管理者に応募時の事業計画書で提示した「管理運営体制」通りの人員配置で体制を組み管理運営をしており、複数の施設管理を行うメリットとして人員を多く必要とするイベント時などはスポットでヘルプ体制を取ることができた。</p> <p>②研修内容として、接遇マナー・人権擁護・個人情報保護及び救命研修などを計画通りに開催した。また本年度は施設管理者としてのスキルアップを図るべく、公文協主催「舞台技術と安全管理」(オンライン配信)を受講し、今後の文化会館運営に役立てた。</p> <p>③社内福利厚生については業界最大手である「ベネフィットステーション」を導入し、充実したプランを展開している。</p> <p>④各種租税や社会保険料等は法律に基づき適切に納めている。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> 管理体制は概ね整っており、きめ細やかなサービスの提供がされていると見受けられる。 会館職員として必要なスキルを身につけるための研修・講習会が定期的・継続的に実施されている。今後も研修参加者の増加を図るとともに、さらに個々の意識向上にも繋がる研修・講習を取り入れていただきたい。 社内の福利厚生制度について、会館職員が積極的に活用できるように努められたい。 各種税金については適切に納入されている。 財政状況については健全に運営されている。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全点検実施回数			12回／年	12回／年	
	事故発生件数			0件	0件	
	安全講習会等参加者数			1人	1人	
	訓練実施回数			2回	2回	
	訓練参加者数			8人	11人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検及び法令に基づいた法定点検は計画通り実施している。本年度は職員による雨漏箇所の修繕（屋上の防水シートの裂目のコーキング加工）を行い、最小限の雨漏りに抑えた。</p> <p>②危機管理に関する研修を定期的実施した。また、緊急時に対応するための「連絡網」も随時更新し、不測の事態に備えている。加えて安全対策として、施設内外の危険箇所を洗い出し、修繕計画に随時反映させている。</p> <p>③ご利用者の安全確保を第一に考え、緊急時を想定した避難訓練や防災訓練を計画通りに実施しており、避難経路図を各諸室ごとに掲出している。なお訓練時は、舞台スタッフや清掃スタッフも含めて全員参加している。</p> <p>④会館職員全員を対象にPマーク（プライバシーマーク）e-ラーニング研修とテストを実施し、年間を通して個人情報の保護に努めた。</p>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・設備等の定期点検及び設備保守作業が計画通り実施されており、利用者の安全及び適切な会館運営のために補修が実施されていることは評価できる。 ・日常の安全点検及び定期点検を適切に実施することで、事故発生件数0を達成されている。 ・避難訓練や防災訓練が適切に実施され、避難経路を各諸室ごとに掲出するなど、危機管理体制が確立されている。また、訓練参加者数は計画値及び昨年度実績を上回っており、評価できる。 ・職員全員に研修及びテストを実施するなど、個人情報の保護に努めている。 					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	89	89	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産総額	1,674,082,000	1,797,645,000	2,042,079,082
売上高	5,092,016,000	6,225,488,000	7,221,022,827
経常利益	281,275,000	131,687,000	188,318,917
当期利益	177,914,000	92,237,000	130,868,563
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常費用	5,009,308,000	6,157,757,000	6,545,903,804
経常収益	5,290,583,000	6,289,444,000	6,734,222,721
経常収支比率	105.6%	102.1%	102.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

第7期の売上高は7221百万円となり前期比＋16%増加しました。
 経常利益は前期比56百万円となり増収増益決算となりました。
 また、財務健全性を示す株主資本は、34.2%と昨年度の39.0%から減少しましたが、一定の水準で維持をしております。
 収益性を示す経常収支比率は100%超を安定的に確保しております。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み (共同事業体用)

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	

共同事業体構成団体名称	
-------------	--

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次			
資産総額			
売上高			
経常利益			
当期利益			
経常収支比率			

決算年次			
経常費用			
経常収益			
経常収支比率			

○経常収益 (営業収益 + 営業外収益) ÷ 経常費用 (営業費用 + 営業外費用) × 100で求めます。

指定管理者コメント	